

## 市民と市長のタウンミーティング（要旨の報告）

日 時：令和7年7月15日（火） 18時30分～20時00分

場 所：シリウス610大会議室

テ ー マ：市政全般

参加人数：11人

出席者：古谷田市長、総合政策課長、マーケティング課長

広聴係2名、マーケティング係1名

タウンミーティングの概要、昨年度の意見に対するフィードバックを説明後、参加者から意見聴取。

### 【意見】

- ・ 瀬谷で開催される国際園芸博覧会に合わせて大和市も動いていくことが、前回のタウンミーティングでも伝えられている。
- ・ それに関連する形で、ふれあいの森を整備してはどうかと考えている。
- ・ 芝生の整備や四季折々の花を植えて、常に人が訪れるような森になったらよいのではないか。
- ・ 下和田地区について、高座渋谷駅から渋谷中学校に通ずる道路が抜け道になっており、通学時間帯は生徒が広がって歩いている場合もあり危険なので、交通安全対策をお願いしたい。
- ・ 現在、障がい者雇用で働いており、仕事を休まないと精神障害者手帳や自立支援医療受給者証の手続きに行けないので、毎週でなくてもよいので、土曜日に窓口が開いていると助かる。
- ・ 有給休暇を使わざるを得ないが、有給休暇本来の目的とは違うと思うのでなんとかならないか。

### 【市長】

- ・ 2027年に瀬谷で開催される国際園芸博覧会はA1クラス最大規模の博覧会で、この規模での開催は一都三県で初めてである。
- ・ この機会を捉えて、瀬谷区に協力して盛り上げていきたい。
- ・ ふれあいの森については、もう少し手を入れていきたいと考えている。
- ・ ここでお伝えするのは心苦しいが、現在、市の財政が厳しい状況なので、企業やボランティア団体など皆さんの力を結集して、花を植えたり、芝生を整えるなど、少しずつでもよくしていきたい。
- ・ 下和田地区の道路、特に通学路の安全については、道路整備計画に基づいて安全性を向上させていく。
- ・ 前市長はシリウス、ポラリス、やまと公園などの整備に力を入れていたが、私は投資的なまちづくりとして、道路の整備に力を入れていく考えであり、広域連携の促進や企業誘致につなげ税収を上げていきたい。
- ・ 土日開庁について、住民票などを扱う市民課の窓口は開けているが、障がい

福祉課など職員配置が難しい部署については対応していない。

- ・ 現在は相談しやすい環境を整えており、丁寧なコミュニケーションを取ることで、ご負担を軽減できるよう努めているのでご理解いただきたい。

#### 【意見】

- ・ 市長の顔を見ると言いにくいことではあるが、政治資金収支報告書未提出の件について、質問をさせていただく。
- ・ 5月7日の神奈川新聞の大見出しで大和市長公職選挙法違反か、という衝撃的な記事が掲載されとても残念であった。
- ・ 能登半島地震後に市長が素早い対応を見せてくれたことなど、とても期待していたのだが、先ほどの新聞記事を見て思ったのは、またかと。
- ・ 市長は市民の税金を預かる立場の長であり、お金のルーズ過ぎるのはいかなものかと思ったのが正直なところである。
- ・ これはクレームではなくエールである。
- ・ 選挙管理委員会からは提出を求める案内も届いていたと聞く。
- ・ 市長給与を2か月間3割カットするとのことであるが、河村たかし衆議院議員が名古屋市長だった頃、市長給与が年間で約2800万円のところを800万円とし、在職していた約15年半で約4億円分を受け取っていない。
- ・ 給料のカットは、こういった先例も参考にしたほうがよいと思う。
- ・ 報道後、記者会見がなかったことは残念に思っており、定例会見まで待つのではなく、すぐに私たち市民に見える形で説明してほしい。

#### 【市長】

- ・ 政治資金収支報告書の未提出については、あってはならないことであり、深く反省している。
- ・ 市議会議員時代の12年はしっかり提出してきた。
- ・ 市長就任後は公務多忙で対応ができていなかったが、それを理由にはできないので、これまで家族で対応してきたところを、会計に関する専門家を入れて体制の強化を図った。
- ・ 政治資金収支報告書の未提出は政治団体のみなし解散となるので、解散届を出して、未提出であった政治資金収支報告書も提出済みで、必要な手続きはすべて終えている。
- ・ 給与の減額については、法令等の明確なルールがあるわけではないが、他市の事例を参考に決めている。
- ・ これまで市議会議員12年、市長2年という活動期間において、寄付や献金を受け取ったことがなく、すべて自己資金でやってきた。
- ・ 自分のお金だからよいということでは決してないが、今後はしっかりとやっていく。
- ・ なお、記者会見については、市が開催するものとは別に個人で記者会見を開き、状況等を説明していることを申し添える。

## 【意見】

- ・ 地域で卓球クラブをやっている
- ・ 高齢のかたが中心であるが、若い人かた、障がいのある人かた、リハビリを兼ねた人かた、外国人など、仕事や生活状況も様々なかたが卓球というひとつのキーワードで集まって楽しく過ごしている。
- ・ こういった活動は、市長が掲げる“つながり”や“ウェルビーイング”と親和性の高いものとする。
- ・ 市民交流拠点ポラリスは、北部文化・スポーツ・子育てセンターという名称で、体育館という位置付けではないと聞いたことがある。
- ・ 屋内のスポーツ施設は暗いのが常識であるが、ポラリスのアリーナは非常に明るくて体育館としての体をなしていない。
- ・ 床が白っぽく、光の反射もあって、ボールが見にくい。
- ・ 財政が厳しいというお話があった後で恐縮だが、外光を遮る、床の色をワックスで濃くするなど、スポーツがしやすい環境に整えてほしい。
- ・ 青少年指導員や健康普及員などの活動について、各地区の人口に最大で約4倍の差があるが予算額は同じなので、人口に応じて配分するなど格差を是正してほしい。
- ・ コミセンについても、北部の人口を考えると設置数が少ないと感じる。
- ・ 北部は新しく住むようになった人が多いが住民同士の交流は少ないので、こういった格差をなくすなど、コミュニティを形成するための仕組みが必要だと思う。

## 【市長】

- ・ ポラリス、北部文化・スポーツ・子育てセンターは、1階に学習センター、会議室、子育て支援施設、2階に体育館という構成である。
- ・ 2階の体育館はスポーツ施設として使える機能を備えたものであるが、東側がガラス張りであるため、明るい状況であることは承知している。
- ・ 出来た当初はカーテンが無かったので眩しいという声が多く、カーテンを付けたのだが、それでもまだ明るい場合がある。
- ・ 先日、ポラリスで行われた中体連のバレーボール大会を観に行った際に、カーテンの上部など光が漏れる場所があった。
- ・ 眩しさを軽減する方策について、対応の可否を関係課と検討している。
- ・ 床面についても、少しずつにはなるが対応していきたい。
- ・ 市内の人口は北部が多く南部が少ない状況である。
- ・ 今年度、地域コミュニティ支援事業に予算を付け、自治会に対する補助を人口割にしていく考えであり、将来的には他の団体も人口割にすることを検討していければと考えている。
- ・ コミセンは防衛補助金を活用して設置した施設で、その後の大規模改修も防衛補助金を活用してきた。
- ・ 厚木基地の米海軍が岩国基地に移転したことにより、将来的に防衛補助金が減少していくことを踏まえると、補助金を活用してきたコミセンの維持管理

は今後の課題と捉えている。

#### 【意見】

- ・ 2～3か月前に放送されたNHK「首都圏情報 ネットドリ！」（岐路に立つ「町内会」未来へのヒントは？）で自治会が取り上げられた。
- ・ 問題点として「加入者の減少」「役員の成り手不足」などが挙げられており、存続が難しい自治会は合併している事例も紹介されていた。
- ・ 市内のリサイクルステーションでは、かごが運搬されてきたらすぐに設置しているところもあれば、私のところのように資源を最初に排出しに来た人が設置している場合もある。
- ・ リサイクルステーションの維持管理に税金が投入されているのに、地域によって差があるのは如何なものかと思ってしまう。
- ・ 自治会として請け負うことが、できるのか、できないのか。
- ・ 昔から住んでいる人の親睦会という側面が強いのなら自治会はいらない。
- ・ 大和市に住んで10年になるが、自治会に関する情報が少ないと感じている。
- ・ 自分が住んでいる場所の自治会名がわからない、役員が誰かもわからない状態で、自治会に入りたくても入れないのである。
- ・ 以前、市に問い合わせしたところ、あなたが入りたいなら教える、というスタンスだったので、こういう姿勢である限り、自治会加入率は下がり続けると思うので、もっと開かれた自治会になるべきである。
- ・ 大和駅と中央林間駅はターミナル駅なので、乗降客の多い時間帯はエスカレーターがごった返している。
- ・ 先日、ベビーカーを持ってエスカレーターに乗っているかたに「どけ！」と言っている人を見かけた。
- ・ 埼玉県や名古屋市は「エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」を制定しているので、大和市でも検討してはどうか。

#### 【市長】

- ・ 近年、様々な形で報道されている自治会の加入率低下は、大和市においても課題となっている。
- ・ 自治会は地域の宝であると考えている。
- ・ 大規模災害が起きた時に、略奪や暴動が起こる国も少なくないが、日本ではそういったことは起こらない。
- ・ これは自治会や自主防災会が中心となって行政と連携を図り、また、日頃から地域で訓練をして有事に備えているからである。
- ・ 自治会はこのようなメリットがあるのだが、インターネットやSNSで、自治会に入ると面倒くさい、役員は何でもやらされるなどのデメリットが発信されることにより自治会の加入率が低下している部分も大きいと考えている。
- ・ 加入率が低下すると一人当たりの負担が増えるという負のスパイラルもある。

- ・ リサイクルステーションの維持管理に関する予算を計上しているが、大変さに見合わないという声もある。
- ・ 現状として、自治会に様々な形で行政への協力を仰いでいるが、行政と自治会の役割を見直すことも検討していかなければならないと考えている。
- ・ また、自治会の負担軽減も必要であり、デジタル技術やSNSの活用について、先進事例の紹介など協力していきたい。
- ・ 「エスカレーターを安全な利用の促進に関する条例」については、ご意見として関係課と対応の可否を話し合ってみたい。

#### 【意見】

- ・ 中央林間駅周辺の道路について、東急田園都市線中央改札口東側の横浜銀行とオリジン東秀、美容室があるエリアに横断歩道を設置してほしい。
- ・ 小田急江ノ島線北東側に新設された改札口に向かう道路に横断歩道がなく危険である。
- ・ 小田急江ノ島線北西側の改札口から踏切を渡って東側へ行った場合も同様の経路で移動する人が多いので危険である。
- ・ 中央林間駅周辺の安全性と利便性の向上につながると思う。

#### 【市長】

- ・ 横断歩道に関しては警察の所管となるが、道路の管理者としてご意見を設置者である県を通じて伝えている。
- ・ 中央林間駅周辺について、生活している市民の皆さんの視点で意見をいただくことは大変ありがたい。
- ・ ご意見をもとに現状を確認して県に意見していく。

#### 【意見】

- ・ 前市長による公共施設関連工事のやり直し指示に関する第三者調査について、調査結果も出ているが、当時の合意プロセスがどうであったのか、また、現在着手されている公共工事に対してどのように反映しているのかを具体的にお聞かせいただきたい。
- ・ 財政について、経常収支比率は99.3%と非常に高い数値となっている。
- ・ 大和市は扶助費の占める割合が高いので、圧縮していくための具体的なシミュレーションをお聞かせいただきたい。

#### 【市長】

- ・ 前市長による公共施設関連工事のやり直しに関しては、弁護士と一級建築士による第三者調査を行い、前市長の強圧的なパワーハラスメントが認定された。
- ・ この結果を受け、二度と同じことを起こさないために、市長を始はじめてする執行機関が適正に市政を行っているかを監視する役割である市議会に公共工事に関する詳細な資料を提供して審議してもらう形にしている。
- ・ 新しい建物だけでなく、大規模修繕も含め、しっかりとした情報提供を行っ

て議員各位に審議していただくことが重要と考えている。

- ・ 財政について、経常収支比率が99.3%ということで、入ってきたお金が殆ど残っていない状況である。
- ・ 扶助費というのは絶対に出ていくお金であり、どうやって圧縮していくのかは大変難しいところであるが、財政が非常に厳しい状況であるため、職員と一丸となって全体的に見直しを図っていく。

#### 【意見】

- ・ 卓球クラブに所属して活動しており、大会で大和スポーツセンター第1体育室を利用している。
- ・ 点灯している照明が少なく、外光を遮るため暗幕を閉めると非常に暗い。
- ・ 第3体育室は暗幕が切れていたり隙間があるので、明るさの調整が難しい。
- ・ 他市のスポーツ施設で大会が行われることもあるが、暗いことで困ることはないので、改善してほしい。
- ・ 昨今は5月や10月でも30度を超える日があり暑さ対策が必要である。
- ・ スポーツセンターやコミセンの空調について、6月から9月など稼働期間を決めずに、気温や湿度に応じて臨機応変に稼働させてほしい。
- ・ 自転車通行帯について、車が停車していて車道を通行せざるを得ないことがあるが、非常に危険であり怖い思いをしている。
- ・ 自転車通行帯の安全性を確保するようにしてほしい。

#### 【市長】

- ・ スポーツセンター第1体育室は公務でよく訪れているので、カーテンを閉めた状態の明るさについて把握している。
- ・ 照明の点灯数については、電気代の節約という部分もあるかと思うが、スポーツ×ライフ課と情報共有し、施設を管理しているスポーツ・よか・みどり財団に対応の可否を検討するよう伝える。
- ・ 暑さ対策について、スポーツセンター第1体育室は輻射式という、床の温度を下げることで穏やかに温度を下げる方式の空調である。
- ・ 送風する対流式空調は、バドミントンや卓球などの競技は影響を受けてしまうが輻射式はそれがないので、スポーツ施設としての評価は高い。
- ・ 私が市長に就任した後は、期間によって空調稼働を決めるのではなく、気温や湿度など状況に応じて稼働させるよう指示している。
- ・ これはスポーツセンターだけでなく、公共施設全体に対しての指示である。
- ・ また、外気温が高くなってから空調を稼働させるよりも、涼しいうちに稼働させる方が電気代も抑えることができるので、早めに稼働することも併せて指示している。
- ・ このような方針でやっているが、施設によっては対応できてない場合もあるかもしれないので、その際は「市長への手紙」などで知らせていただきたい。
- ・ 来年4月からは、自転車も青切符が切られるようになるので、自転車が安全で快適に使えるよう、引き続き環境の整備に努めていく。

**【意見】**

- ・ はりきゅうマッサージ治療助成券について、高齢のかたはとても喜んでいる制度であるが、来年度から廃止されると聞いている。
- ・ 制度の存続を望む声が多いので、高齢のかたの健康維持のために廃止しないことを要望する。
- ・ 大規模災害により自治体の庁舎が被災した場合に備え、移転できる土地を確保している自治体があると聞く。
- ・ 大和市も災害時に本庁舎が被災した場合にどこで業務を継続していくのか、今のうちに場所を確保することを提案する。

**【市長】**

- ・ はりきゅうマッサージ治療助成券について、喜んでいただいている状況があることは承知しているが、利用率が低く費用対効果という点で見直しの対象となった。
- ・ 高齢のかたの健康維持については、引き続き検討していく。
- ・ 大和市役所本庁舎は人口が14万人であった50年前の建物である。
- ・ 大規模災害が起きた場合、市役所本庁舎は災害対策本部として機能することになるが、本庁舎のキャパシティでは災害対策本部と避難者の受け入れを同時に行うことはできないのが実情である。
- ・ 本庁舎が被災した場合には、ここシリウスが災害対策本部の拠点となる。
- ・ 本庁舎は50年経過しており、耐震補強工事をしているが、本庁舎の在り方については、将来に向けて話し合っていく考えである。

**【意見】**

- ・ 草柳小学校には、おかえりなさい運動の会があり、児童の登下校時に見守り活動をしている。
- ・ 小学校北東側のスポーツセンター入口という五差路には10人前後を配置しているが、全員が70歳以上となっており、全体的に高齢化が進んでいる。
- ・ 以前は労いの会をしていたが、近年はそれも行われず、モチベーションが上がらない状況である。
- ・ この運動はボランティアで行われており、地域で行う登下校の見守りが市内全域に広がっていくきっかけとなった活動である。
- ・ まだ行われていない地域もあると聞くので、年に1回くらいは教育委員会や学校が労いの気持ちを示すとともに、市内全域に活動の輪を広げていくこともお願いしたい。
- ・ これは要望なので、地域の声として伝えてもらえればよい。

**【市長】**

- ・ 草柳小学校のおかえりなさい運動の会が、登下校の安全のために一生懸命活動していただいていることに感謝申し上げます。
- ・ 地域の声として、教育委員会、学校にお伝えさせていただく。

### 【意見】

- ・ 昨年度も参加してお願いしているが、障がい者歯科診療所を大和市内に設置することを要望する。
- ・ 大和綾瀬歯科医師会の大和歯科診療所は、介護認定があると障がい者の歯科診療が受けられるので、ここを障がい者歯科診療所にすることもできるはずである。
- ・ 高齢になった保護者は、子どもたちの歯科診療で大変な苦勞をしている。
- ・ 大和市で生活する重度障がい者、その保護者共通の思いである。
- ・ 福祉については予算を削るのではなく、増やして行ってほしいので、シリウスやポラリスの維持管理費を見直すべきである。

### 【市長】

- ・ 障がい者歯科診療所の二次医療機関は広域連携しており、県央の市町と地域の歯科医師会等の相互協力によって実施しており、大和市が単独で動くことが難しいことはご理解いただきたい。
- ・ 厚木市の診療所まで遠いことや慣れない環境で治療する困難さなども伺っており、皆さんのご意見も参考にしながら、市ができることを検討していく。
- ・ シリウス、ポラリスの維持管理費については、人件費、物件費の高騰もあるので、職員と一緒に見直しを図っているところである。
- ・ 予算を圧縮できる部分をしっかり見極めていきたい。

### 【意見】

- ・ シリウス3階のげんきっこ広場でプレイリーダーをしている。
- ・ 来年度から0～2歳の子どももげんきっこ広場を利用できるようになる。
- ・ げんきっこ広場は小学校2年生まで利用でき、小さな子どもが埋まってしまうくらい深いボールプールもあり、事故が起きないか心配である。
- ・ 様々な要望があって0～2歳も利用できるようになったことは理解しているので、現時点で考えられるリスクについて、ぜひ市長に見ていただき、リスクを回避する方策を一緒に考えてほしい。
- ・ 3階には授乳室とおむつ替えコーナーが用意されているが、通常のトイレには授乳スペースとおむつ替えベッドがないため、両方を使いたい場合、行き来しなければならない。
- ・ 今後、0～2歳の利用が始まると通常のトイレで授乳やおむつ替えをしたいかたが非常に多くなることが予想される。
- ・ すでに多くの利用者から出ている意見なので、通常のトイレへの授乳スペースとおむつ替えベッドの設置をぜひお願いしたい。
- ・ げんきっこ広場は最大75組利用していて土日は殆どの時間帯が混んでおり、おもらしや嘔吐も少なくないので、市長にはスーツではなく、動きやすい服装で混雑時に施設内に入ってご覧いただきたい。
- ・ 屋内こども広場の休館は12月31日、1月1日のみなので、子育て世代が多いプレイリーダーには負担であることも意見としてお伝えする。

### 【市長】

- ・ シリウスには公務で訪れる頻度が高く、その度に3階の屋内こども広場の様子を視察している。
- ・ げんきっこ広場とちびっこ広場に行くと、0～2歳と3歳以上の子どもを保護者一人で見ている場合、げんきっこ広場で遊ばせられないとよく言われ、「市長への手紙」でも同様の意見をたくさんいただいたことから、0～2歳の子がいてもげんきっこ広場に入れるようにしようと考えた。
- ・ 0～2歳も利用することによって、事故が増えてはならないので、安全に利用していただくための方策を検討しなければならない。
- ・ 授乳スペースとおむつ替えベッドについても、現状を確認したうえで対応策を検討する。

### 【意見】

- ・ 少年補導員をしている中で、やまと公園について意見がある。
- ・ 7月4日（金）に大和駅からやまと公園までパトロールを行った。
- ・ 18時40分のやまと公園内には、かなりの子どもがいた。
- ・ 付き添いが必要な年齢の子どもと保護者の数が合わないので、聞いてみたところ、近所だから付き添いなしで来たとのことで、19時頃まで保護者の付き添いなしで遊んでいる状況であった。
- ・ また、不定期であるが高校生がプロキオンにたむろしている。
- ・ やまと公園はシルバー人材センターの人が巡視しているが、一人しか配置されておらず、10人以上の高校生に注意できる状況ではない。
- ・ 保護者の目がないと、小さな子どもでも怪我をする恐れのある危険な遊び方をしている。
- ・ 学校の先生方をお願いするのは難しいと思うので、市長をはじめ市の皆さんで知恵を出して見回りができる体制を構築してほしい。

### 【市長】

- ・ パトロールしていただき感謝申し上げます。
- ・ やまと公園の現状として、見回りが必要である状況を把握している。
- ・ シルバー人材センターのかたが一人で大勢の若者に対して注意がしにくいという指摘はよくわかる。
- ・ 他市で導入している警察や自衛隊のOBをパトロールに組み込む方法も効果的と考えるが、財政的に厳しいためすぐの対応ができない状況である。
- ・ 財政を健全化するため、全庁的な予算の見直しを行い、こういった部分にも予算を割くことができるようにしていきたい。

### 【意見】

- ・ 大和駅周辺のまちづくりや市内の産業振興について、前市長時代に足らなかったことと、その要因について、感想レベルでお聞かせいただきたい。

## 【市長】

- ・ 前市長は「ひと、まち、社会の健康」を柱にしており、その中でも特に「人」に関して力を注いでいた。
- ・ だからこそ、シリウス、ポラリス、やまと公園といった人が喜ぶものを整備していったのだと思うが、稼ぐ施設ではないため出て行くお金の方が多い状況となってしまった。
- ・ 私は大和市を稼げるまちにしていきたいと考えている。
- ・ 歴代の市長は道路に関してあまりお金をかけてこなかったもので、市長になって驚いたのが、大和市と周辺市を結ぶ道路が少なく、市内の道路がぶつ切り状態だったことである。
- ・ まちづくりに関して、前市長と一番違うところは、周辺市と良好な関係を築き広域で連携していける体制を敷いていることである。
- ・ 道路の接続がよくなれば、企業誘致がしやすくなり、法人市民税や固定資産税が増加する。
- ・ 企業が増えれば働き手である若者が増え、大和市が稼げるまちになる。
- ・ こういったところを、少しずつにはなるが前進させていきたい。